

アドソル日進 代表取締役 社長 兼 COO の
篠崎俊明でございます。

本日は、ご多用の中、オンラインでの開催となりました
「2023年3月期 第2四半期」の決算説明会に
ご参加いただき、誠にありがとうございます。

ご説明の資料は、皆様のモニターの右側に表示されますので
合わせてご覧ください。

本日のご説明は、まず初めに
代表取締役 会長 兼 CEO の上田より、
「2023年3月期 第2四半期の総括」をご説明したのち、

その詳細や、「事業計画の進捗状況」などを、
私、篠崎より、ご説明いたします。

それではまず、
「2023年3月期 第2四半期の業績総括」を、
上田よりご説明いたします。



01

売上高

6,236百万円 (0.1%増)

先進インダストリー事業 拡大(基盤システム、ソリューション)

02

営業利益

530百万円 (12.7%減)

戦略投資 推進 (人材育成、体制強化、DX・デジタル化等)
※販売管理費 1,113百万円(92百万円増)

03

受注残高

2,685百万円 (21.4%増)

DX案件 拡大 (ペイメント関連、業務基盤関連)
新規受注 航空キャリア向け 等

※カッコ内は、対前年同四半期増減率

代表取締役 会長 兼 CEOの 上田 富三でございます。

それでは、
2023年3月期 第2四半期 の総括について
業績サマリーから、ご説明いたします。

売上高は先進インダストリー事業の、
DX関連案件などが堅調に推移し、
「6,236百万円」と、増収で着地しました。

次に、利益面ですが、今期は、期初にご説明しております通り、
事業拡大に向けた成長投資を加速させております。
そのため、販売管理費を前期比で、「92百万円」増加させた結果、
営業利益は、「530百万円」と、
前期比で、「12.7%」の減益となりました。

受注残高は、電力関連など、お客様の投資マインドが回復していることや、
DX案件が増加したことなどを背景に、
「2,685百万円」と、前期比で「21.4%」増加しました。

お客様から、「DXのアドソル日進」への大きな期待を頂いております。
今後、DXで一層の貢献を果たしてまいります方針です。



DXイノベーションに向けた取り組み

POINT

1

Mapbox社 協業開始 !!

地図情報サービス 開発プラットフォーム



マップボックス・ジャパン合同会社

共同出資：・Mapbox Inc.
(ワシントン発 ユニコーン企業)
・ソフトバンク株式会社

POINT

2

東京都 新型コロナウイルス感染症対策 データ分析ソリューション 納入

要因の探索・予測のための
拡張アナリティクス

dataDiver

高度なデータ分析エコシステムの
構築を実現



パンデミックや激甚災害発生などに対応した
「レジリエンス・ソリューション」へ

POINT

3

東京大学 新講座「実践宇宙データ活用」 AI・IoT分野で協力

超小型衛星開発 中須賀真一教授との共同研究より

【テーマ】

- ・宇宙・衛星データ利活用
- ・人材育成



POINT

4

経済産業省 「DX認定」認定取得

2022年7月1日認定



DX推進準備が整備された企業を、国が認定する制度

Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

3

続いて、この上期、新たに行った、「アライアンス」や、「産学連携」など、「DXイノベーション」の取り組みをご紹介します。

- ・まず、米国・ワシントンのユニコーン企業である、Mapbox社と、地図を活用したDXの実現を目指し、協業を開始しました。
- ・次に、データ分析でリードする「データビークル社」と協業し、感染症対策として、データ分析ソリューションを、東京都に納入しました。
- ・また 産学連携の取り組みとして、前期から共同研究を推進する、東京大学 大学院とは、宇宙・衛星データ利活用に関する新講座を開講しました。
- ・なお、今年7月には当社の、DX推進状況を踏まえ、経済産業省から、「DX認定事業者」に選定されております。

この他にも、中長期的な事業拡大に向けた様々な施策を積極的に、推進しております。



「地図」によるDX! : GIS (地理情報システム)

GISソリューションプロバイダ No.1へ!

POINT
1

GIS 利用シーン : 拡大



防災・ハザードマップ



マーケティング

POINT
2

暮らしと社会の安心・安全



エネルギー



鉄道

POINT
3

GIS実績 : 20年

グローバルアライアンス、産学連携、オリジナルソリューション



Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

4

ここで、当社の、DXイノベーションの中核である、GIS:地理情報システムへの取り組みについてご紹介します。

GISは地図上に様々なデジタルデータを重ね、情報を可視化するシステムとして、スマートフォンや、パソコンなどで、誰もが日常的に利用するサービスになっています。

企業での活用も進んでおり、防災やマーケティングなど、DXに貢献するテクノロジーとして高い注目を集めています。

このような中で、当社は、エネルギー、鉄道などの社会インフラシステムに、「20年以上」にわたり、「GIS:地理情報システム」を、提供してまいりました。

また、グローバル展開する、GIS企業とのアライアンスや、産学連携を通じた技術力の強化、オリジナルソリューションの開発・提供など、差別化戦略も推進してまいりました。

おかげさまで当社は、GIS:地理情報システムでは、コンサルティングからシステム開発、ソリューションまで、「国内トップクラスの技術力」と、高い評価をいただいております。

今後も、当社ならではの「GIS:地理情報システム」を提供し、DXを通じた社会貢献に積極的に努めてまいります。



2026年3月、当社は創立50周年を迎えます。

新・中期経営計画

(2024年3月期～2026年3月期)

2023年5月
公表予定

さて、本年5月の決算説明会でもご説明しましたが、
当社は現在、新たな中期経営計画の策定を進めております。

外部環境としては、国際情勢不安や、
資源・エネルギー価格の高騰、為替相場の動向など、
多くのリスクが顕在化しておりますが、
一方で、コロナ後の明るい兆しも伺えます。

また、ICT市場は、DXをはじめとした様々なテーマで、
さらなる拡大が見込まれています。

このような外部環境や市場環境を踏まえ、
次期・中期経営計画では、
当社ならではのICTサービスを進化させ、
持続可能な社会の発展に貢献することで、

お客様やパートナー企業様、アライアンス企業様、
そして株式市場、株主・投資家の皆様からの
ご期待にお応えしてまいります。

「2023年3月期 第2四半期の総括」は、以上でございます。

次に、業績の詳細や、「事業計画の進捗状況」について、
社長の篠崎より、ご説明いたします。

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要

それでは、篠崎より、
「2023年3月期 第2四半期」の決算概要について
ご説明いたします。



01

ビジネス環境 改善

業績底打ち～トレンド転換

受注残高(9月末)

21.4%増 

電力関連 売上高(2Q累計)

12.9%増 

02

DXビジネス 好調

DX案件、DXソリューション 増加

先進インダストリー事業 売上高(2Q累計)

18.0%増 

ソリューション売上高(2Q累計)

39.9%増 

まず、足元の事業状況についてご説明します。

前期はコロナ禍の影響により、大型案件を中心に、プロジェクト開始が遅延・延期され、当社業績も大きな影響を受けました。

しかしながら、第2四半期に入り、事業トレンドは底打ち・転換フェーズに入っております。

- ・先行指標である受注残高は、前年同期比で、「21.4%」増加しました。
- ・次に、当社の主力領域である、電力関連の売上高は、前期比で「12.9%」の増収となりました。
- ・さらに、今期、特に注力しておりますDX関連では、先進インダストリー事業が「18%」の増収となり、
- ・差別化戦略の中核となるソリューション分野でも、オリジナルソリューションや、アライアンスビジネスの拡大により、「約40%」の増収となりました。

このように、指標面でも、トレンドの転換をご確認いただけるかと思えます。

また、お客様との商談の中でも、投資マインドが明らかに改善し、前向きになっていると実感しております。

DX関連やエネルギー関連に加え、航空や、道路、防災等の領域で、新規案件の受注や、多くの引き合いを頂いており、事業拡大に向けた基盤が整ってきたと認識しております。



2023年3月期「第2四半期」業績

先進インダストリー事業：基盤システム分野、ソリューション分野 拡大
 売上総利益率 +0.2P：DX案件 好調

(単位:百万円)	2022/3 2Q		2023/3 2Q		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
売上高	6,228	-	6,236	-	8	0.1
社会インフラ事業	3,850	61.8	3,431	55.0	△418	△10.9
先進インダストリー事業	2,377	38.2	2,804	45.0	427	18.0
売上総利益	1,629	26.2	1,644	26.4	14	0.9
販売管理費	1,021	16.4	1,113	17.9	92	9.0
営業利益	608	9.8	530	8.5	△77	△12.7
経常利益	628	10.1	549	8.8	△79	△12.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	436	7.0	370	5.9	△66	△15.2

Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

8

続いて「2023年3月期 第2四半期 業績」の、
 詳細をご説明します。

売上高は、「6,236百万円」、
 売上総利益率は、「26.4%」と「0.2ポイント」上昇しました。
 これらはいずれも、
 先進インダストリー事業の、DX関連などが
 けん引したことによるものです。

営業利益に関しては、
 DX人材育成などの戦略投資を推進した結果、
 販売管理費が前期比で「92百万円」増加し、
 「530百万円」となりました。



セグメント別売上高

社会インフラ事業 : エネルギー分野 (電力:増収 、 ガス:大型案件 終了)
 先進インダストリー事業 : DX案件 (ペイメント、業務基盤)、アライアンス活動など

(単位:百万円)	2022/3 2Q		2023/3 2Q		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
売上高	6,228	-	6,236	-	8	0.1
社会インフラ事業	3,850	61.8	3,431	55.0	△418	△10.9
エネルギー	3,183	51.1	2,796	44.8	△387	△12.2
交通・運輸	213	3.4	256	4.1	42	19.9
公共	84	1.4	117	1.9	33	39.5
通信・ネットワーク	368	5.9	262	4.2	△106	△28.9
先進インダストリー事業	2,377	38.2	2,804	45.0	427	18.0
制御システム	753	12.1	719	11.5	△33	△4.4
基盤システム	1,322	21.2	1,662	26.7	340	25.7
ソリューション	302	4.9	422	6.8	120	39.9

Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

9

続いて、セグメント別の概要をご説明します。

「社会インフラ事業」では、
 「エネルギー分野」で、
 前期あったガスの大型案件が終了した影響が大きく、
 減収となりましたが、

電力分野は、エネルギーシステム改革関連や、
 中部地区での取り組みに注力した結果、
 増収に転換しております。

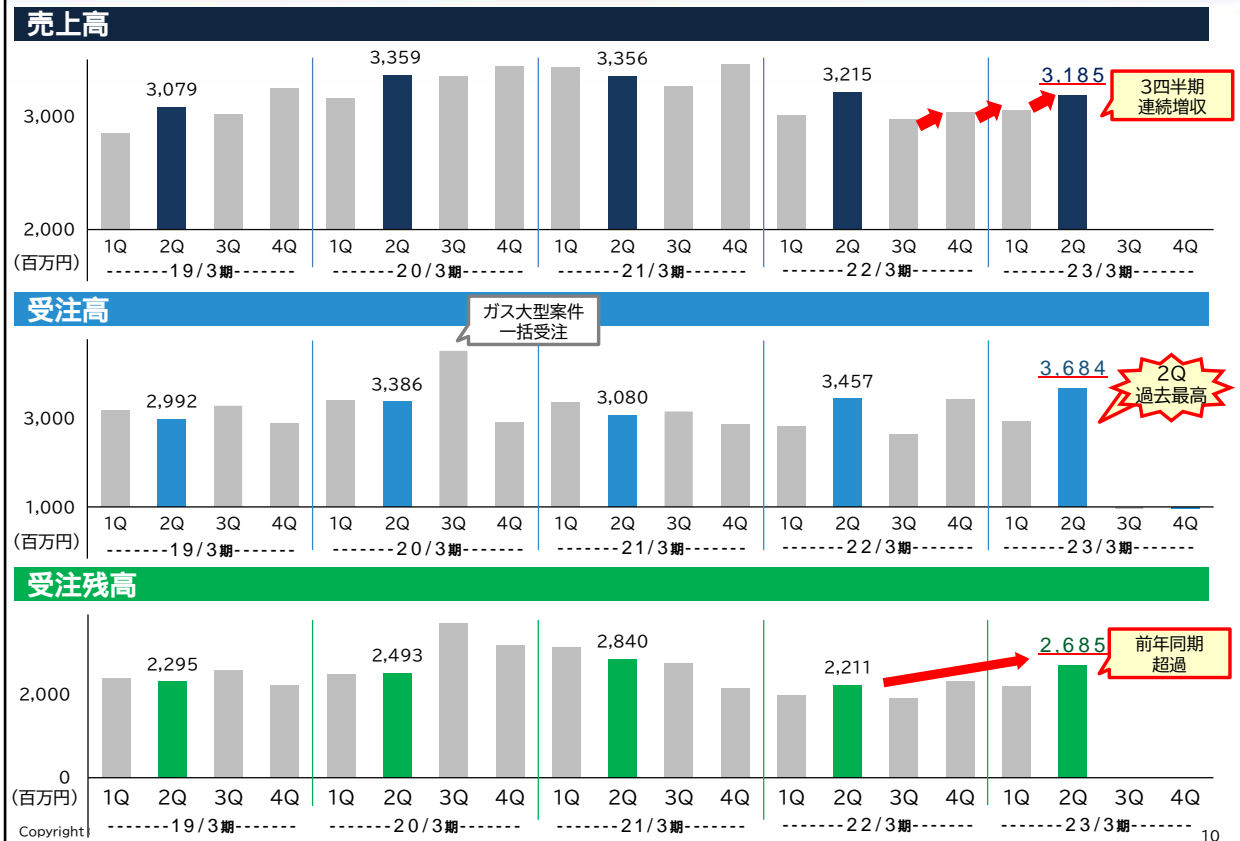
また、交通・運輸分野では、道路関連での新規開拓や、
 航空キャリア系での新案件がスタートするなど、
 拡大に向けた基盤づくりに注力しました。

次に、「先進インダストリー事業」では、
 「基盤システム分野」の、
 大手メーカーや、システムインテグレーター向けの
 DX案件が拡大し、増収となりました。

また、ソリューション分野での、「GIS:地理情報システム」を
 はじめとしたアライアンス・ビジネスも拡大しました。



四半期推移



四半期毎の売上高、受注高、受注残高は、
ご覧の通りです。

売上高は、「3四半期連続の増収」、
受注高は、第2四半期としては、「過去最高を更新」、
受注残高は、「前年の第2四半期を超過」し、
着地しております。

繰り返しとなりますが、
お客様のICT投資マインドは確実に回復しておりますので、
このご期待に、しっかりお応えし、
拡大トレンドを加速させてまいります。



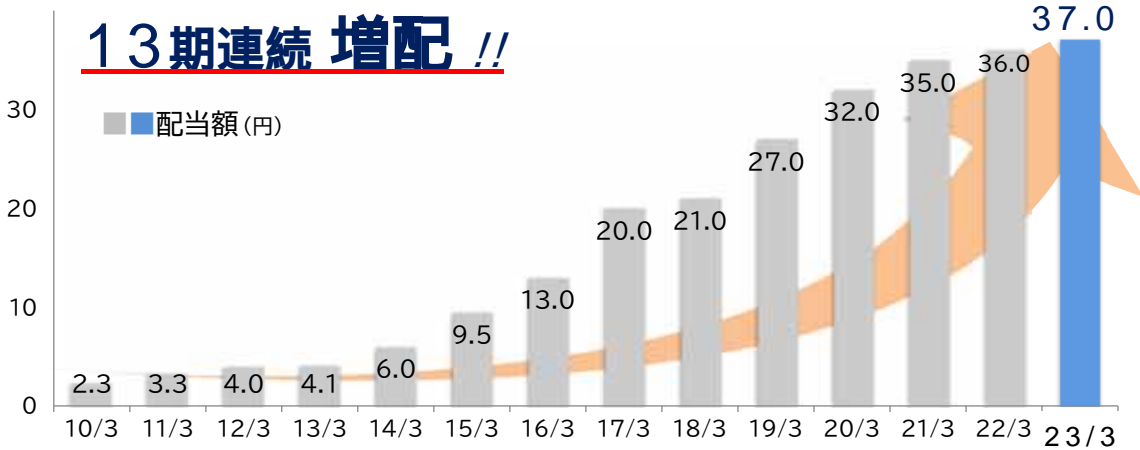
配当方針

- 配当性向 **35%**以上
- 連続増配**
- 配当計画 年**2**回(中間、期末)

配当予想

(単位:円)	2022/3	2023/3
中間	18	18
期末	18	19
年間	36	37

配当推移



Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

11

つづいて、株主還元です。

今期、2023年3月期の配当ですが、
13期連続増配となる、前期比1円増配の
「年間37円」を、予定しております。

なお、12月2日にお支払いを予定しております、
中間配当金は、「18円」を予定しております。

以上、「2023年3月期 第2四半期」の決算概要について
ご説明申し上げます。

-----ご参考-----

- ・配当金 支払予定日:2022年12月2日(金)
- ・配当性向:35%以上
- ・年2回配当(中間・期末)

2. 2023年3月期 事業戦略（変革・成長戦略）の進捗状況 変革と挑戦 ～ Change & Challenge ～

次に、
変革と挑戦に向けた、
事業戦略の進捗状況をご説明します。



Change & Challenge



01 「事業モデル転換」への挑戦

・「DX」の潮流～「デジタル・シフト」への貢献

- DXコンサルティング・サービスの提供
- デジタル・データ利活用
- 最先端テクノロジー (AI、IoT等) の活用
- ICTシステム開発の進化・高速化
- 革新的なソリューションの提供 等

👉 **新たな価値の共創**

02 「エネルギー・システム改革」への貢献

・ ICT投資テーマ (2030年～2050年)

「サステナブルな社会の実現」

- 脱炭素
- カーボンニュートラル
- 再エネ効率化 等

👉 **全国のエネルギー会社 (電力・ガス) 対応**

13

5月の決算説明会でもご説明しておりますが、2023年3月期は、「変革」と「成長」を図る1年と位置づけ、「事業モデルの転換」と「エネルギー・システム改革」の2つのポイントで、事業戦略を推進しております。

まず、「事業モデルの転換」では、「DXコンサルティング・サービス」の提供などを通じて、お客様と、新たな価値の共創に取り組んでおります。

次に、「エネルギーシステム改革への貢献」では、全国の電力・ガス会社で進められる、脱炭素や、カーボンニュートラルなど2030年や2050年を見据えたテーマに向け、創業以来培った、豊富な実績と経験を活かし、貢献することを、事業戦略の中核に置いております。



01

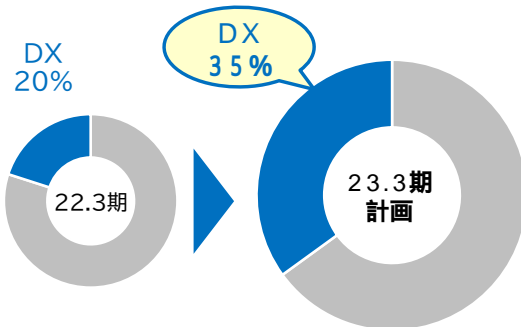
「事業モデル転換」への挑戦

「デジタル・シフト」への貢献



Point

01 DXビジネス 拡大に向けて



Point

02 DX案件 増加

業種	案件
大手メーカー	システム統合、デジタル・データ利活用 社内システム - DXフル刷新
大手IT企業	業務システム - ローコード開発
エネルギー企業	社内システム - DXフル刷新、老朽化対応
サービス業	デジタル・データ利活用 データアナリティクス

Point

03 DX人材 育成推進

2.2倍!
(前2Q比)

テーマ : DX、Azure、AWS、Google、統計など



P18

まず、事業モデルの転換では、
今期のDX関連の売上比率を、「35%」まで拡大させる
戦略を推進しております。

今期に入り、複数の大手メーカー様や
エネルギー企業様など、幅広い業種のお客様で、
様々なテーマのDX案件がスタートし、
順調に拡大しております。

第3四半期に入ってから、
新プロジェクトの開始に向けた準備が進み、
これまで取引のなかったお客様からのご相談も頂いております。

これら旺盛なDX需要にお応えするため、
クラウドや、AIをはじめとしたDX人材の育成にも、
この上期、積極的に取り組んでまいりました。
詳細は後ほど改めてご説明いたします。



02

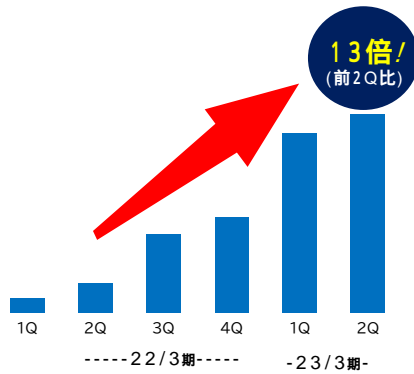
「エネルギー・システム改革」への貢献

サステナブルな社会の実現



Point

01 中部地区 事業拡大



・テーマ:設備、系統、DX、リニューアル

Point

02 新需要への対応
~ 次世代スマートメーター ~

・対象エリア : 日本全国
・実施時期 : 2025年

- <Point>
- ・全電力会社
 - ・レジリエンス強化
 - ・電力データ利活用
 - ・再エネ普及/脱炭素
 - ・共同検診(ガス、水道)
 - ・新サービス創出



次に、全国の「エネルギーシステム改革への貢献」に向けた、取り組みについてご説明します。

今期、事業拡大に注力している中部地区(名古屋)においては、エネルギー関連売上高が、前期の第2四半期から「13倍」に、拡大しました。

また、今後の大きなテーマの一つである「次世代スマートメーター」でも、エネルギー企業や、メーカーとの連携・協業体制の調整を進めました。

今後、エリア戦略をさらに強化するとともに、サステナブルな社会を実現するエネルギーシステム改革に貢献してまいります。

3. 2023年3月期

成長投資の進捗状況

変革と挑戦 ~ Change & Challenge ~

続いて、今期、重点的に取り組んでおります、
成長投資の進捗状況をご説明します。



「DX・デジタル」の アドソル日進へ：成長投資の進捗

POINT

1

DX人材育成

資格取得者数 : 2.2倍
 新卒採用 : 35名
 (大学院10名、大学25名)



POINT

2

DXデジタル・サービスの確立

東京大学大学院
 新講座スタート
 (実践・宇宙データ活用)



POINT

3

オリジナル・ソリューションの強化・拡充

- ・シュナイダー : 専用PJルーム / 人材育成
- ・Mapbox : パートナー契約締結
- ・コニカミノルタ : FORXAI 協業開始
- ・データビークル : 東京都に新型コロナウイルス感染症対策データ分析ソリューション導入



POINT

4

デジタル経営・働き方改革

- ・アドソルグループDX：新システム稼働
 →業務効率化、働き方改革を推進



Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

17

今期は、「DX・デジタルのアドソル日進」、
 への進化に向け、

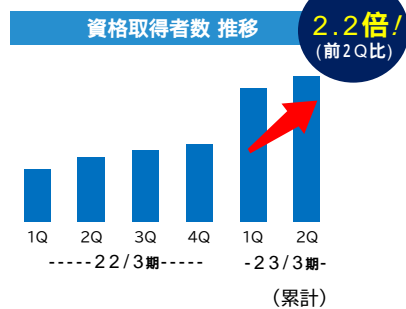
「DX人材の育成」や、
 「DXデジタルサービスの確立」、
 「オリジナル・ソリューションの強化」に加え

働き方改革や、デジタル経営に向けた
 「DX・デジタル化」投資を
 積極的に行っております。



Point

01 DX人材育成の推進



- ・資格取得数: 2.2倍
- ・テーマ : DX、AZURE、AWS
Google、統計など

Point

02 2023年4月 新卒採用

入社予定: **35名**

- ・大学院: 10名
- ・大学 : 25名

- 【国立】 北海道、東北、秋田、福島、茨城、宇都宮、東京、東京工業、一橋、福井、三重、和歌山、広島、徳島、九州工業、九州、鹿児島
- 【公立】 大阪府立、島根県立、北九州市立
- 【私立】 慶應義塾、早稲田、上智、東京理料、法政、明治、同志社



2022/10/3 内定式(ウェブ開催)

まず、「DX人材の育成」については、

- ・DXプロジェクトへの参画・実践を通じたスキル取得と
 - ・DX研修や資格取得
- に取り組みました。

その成果の一例として、

AzureやAWSなど、DX関連資格の取得者が「2.2倍」に増加しました。

また、事業活動の源泉である、人材の獲得については、新卒採用として、

「35名」の優秀な学生が、内定しております。

今後も、DX人材の育成や採用活動に積極的に取り組み、

「DX・デジタルのアドソル日進」への進化を図ってまいります。



東京大学大学院 新講座スタート(実践・宇宙データ活用)

工学系研究科 航空宇宙工学専攻



「宇宙」×「IT」×「問題解決」
価値提供力の育成



- ・「講義」と「ワークショップ」構成
- ・PBLスタイル (Project Based Learning:課題解決型学習)

東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻
中須賀 真一 教授

- ・従来の宇宙開発の枠組みにとらわれない、超小型衛星から大型の膜構造衛星までをカバーする、革新的な宇宙システムの研究開発を推進
- ・世界初の1kg衛星をはじめ、超小型衛星(100kg以下)13機の打ち上げ運用に成功
- ・超小型衛星の実利用・ビジネス化に向けた技術開発と利用開拓を通し、多くのベンチャー会社とも連携
- ・宇宙システムの自律化・知能化に向けた、人工知能・制御などの基礎/応用研究 など



「DXデジタルサービスの確立」、に向けては
また、当社は前期から、東京大学大学院と
宇宙・衛星データ利活用に関する
共同研究を推進しております。

この10月から、新たな産学連携活動として、
宇宙データ活用に向けた新講座をご支援しております。

この講座では、当社のAI研究所のメンバーが中心となり、
エンジニアリングやAI、IoT、「GIS:地理情報システム」などの
実例を交えながら
宇宙データ活用の最先端人材の育成に
取り組んでおります。

この産学連携の取り組みを、
IT人材の、DXやAIなどの「リスクリング」にも展開し、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



DX・デジタル化

03

オリジナル・ソリューションの強化・拡充
アライアンス企業との共創



・エネルギー&オートメーション:グローバルメジャー
・「世界で最も持続可能な企業 第1位」(2021年コーポレートナイツ Global 100 Index)

Point

01 共創ビジネスの推進

インダストリーDX

製造業・工場向けDX・IoT



大手メーカー向け
DX・IoTソリューション
共同提案

マイクログリッド、VPP

小規模エネルギーネットワーク



エネルギー企業向け
グローバル事例によるコンサル
テイング

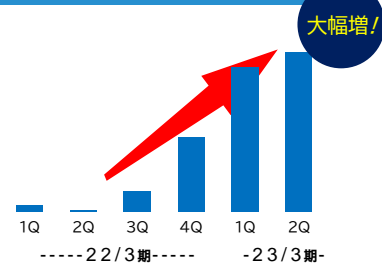
エネルギーマネジメント

ビル、データセンター効率化



ビル・データセンターの
CO2削減・省エネ対応

ビジネス拡大



Point

02 共創活動の推進



専用PJルーム開設 (東京、大阪)

人材育成の共創推進

続いて、オリジナルソリューションの強化につながる、アライアンス企業との共創について、ご説明します。

まず、2019年より協業活動を推進する、フランスのシュナイダー社とは、「インダストリーDX」に加え、「マイクログリッド」や「VPP:バーチャル・パワープラント」「エネルギー・マネジメント」など、対応領域の拡大に注力しました。

その結果、ビジネス規模も、想定以上に大きく増加しております。

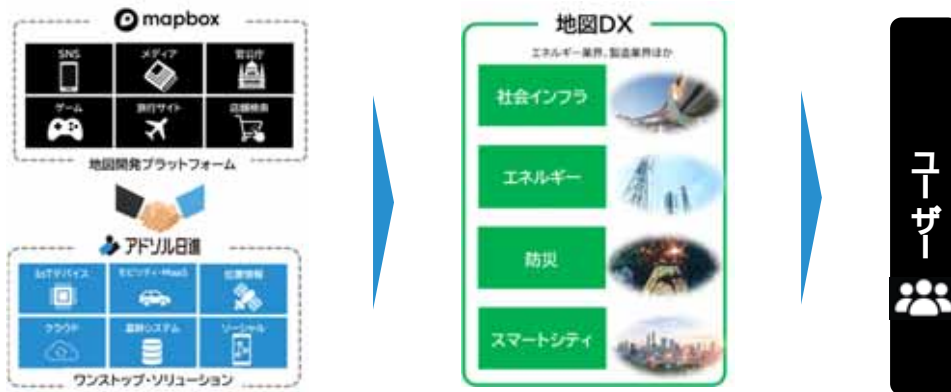
東京・大阪での専用プロジェクトルームの開設や、人材育成に共同で取り組むなど、協業体制を一層強固なものとする施策も進展しております。



mapbox
マップボックス・ジャパン合同会社

地理情報サービス 開発プラットフォーム : リーディングカンパニー
共同出資 : ・Mapbox Inc.(ワシントン発 ユニコーン企業)
・ソフトバンク株式会社

GISサービス展開目標: 3年後 100社



次に、
GIS: 地理情報システムについては、
米国・ワシントン発のユニコーン企業であるMapbox社と、
ソフトバンクグループが出資する
「マップボックス・ジャパン合同会社」と、
パートナー契約を締結しました。

今後、エネルギー関連企業や、
メーカーなどを足掛かりに、
幅広い業界へ展開し、
「3年後に100社」への導入を目指すとともに、
ソリューションパッケージなど
共同開発も行ってまいります。



KONICA MINOLTA

世界トップクラスのイメージング技術

コニカミノルタ株式会社

画像IoTプラットフォーム FORXAI(フォーサイ)



FORXAI

(画像IoTプラットフォーム)



KONICA MINOLTA



アドソル日進



また、コニカミノルタ株式会社とは、
エネルギーやヘルスケアなど、
幅広い領域における、DXの実現を目指し、
協業を開始しました。

今後、同社の世界トップクラスのイメージング技術と、
当社の、システム・インテグレーションサービスや、
ソリューションとの共創を進めてまいります。



DataVehicle データビークル社との共創ソリューション納入

株式会社データビークル
<https://www.dtvcl.com/>

【東京都】 データ分析ソリューション（新型コロナウイルス感染症対策）



データ分析ソリューション

感染症対策に貢献

<分析>

<予測>

要因の探索・予測のための
拡張アナリティクス
dataDiver
高度なデータサイエンティストが
あなたをサポートいたします。

「東京 iCDC」
東京都福祉保健局の感染症に関する政策立案、危機管理、調査・分析、情報収集・
発信など、効果的な感染症対策を一体的に担う常設の司令塔。

「東京 iCDC ウェブサイト(東京都)」
<https://www.koho.metro.tokyo.lg.jp/2021/04/01.html>

Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

23

さらに、データ分析で
最先端の取り組みを推進する「データビークル社」とは、
感染症対策として、データ分析ソリューションを共同対応し、
東京都に納入しました。

今後、パンデミックや激甚災害などに対応した
「レジリエンス・ソリューション」としても展開を図るべく、
両社で検討を進めております。

このように、DX・デジタルサービスの確立に向けた取り組みが
着実に進んでおります。

今後、これらの取り組みを
さらにスピードアップさせてまいります。

4. 2023年3月期 通期業績見通し

それでは、
「2023年3月期の 通期業績見通し」をご説明します。

**通期**

- ・「**エネルギーシステム改革**」「**DX**」：下期以降、開発本格化
- ・「**戦略投資 継続**」：DX人材育成等

(単位:百万円)	22/3 実績	2023/3		
		見通し額	増減額	増減率%
売上高	12,247	12,800	552	4.5
営業利益	1,088	1,120	31	2.9
経常利益	1,130	1,153	22	2.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	784	786	1	0.1

現段階では、期初の想定通り、
事業が進捗しており、
売上高：「128億円」、
営業利益：「11.2億円」を、
見込んでおります。

下期に入り、
エネルギー関連や、DX関連等、
ICTシステム開発が動き出しておりますので
受注活動をしっかり行うとともに、
来期以降のビジネス獲得につながる
営業・提案活動に取り組んでまいります。

5. 新・中期経営計画 検討・方向性のポイント

最後に、
現在策定を進めております
新・中期経営計画のポイントをご説明します。



“ 5Star ” 企業へ



新・中期経営計画は、
きらりと光る、存在感のある企業への進化を目指し、
戦略検討を進めております。

- ・システム開発での「次世代型のビジネスモデル」、
 - ・ソリューションによる、「未来の共創」、
 - ・市場、お客様の「満足と信頼」の獲得
- そして、
- ・「持続可能な経営基盤」の確立と、
 - ・「企業価値向上」に向けたコーポレート戦略 という、

この5つの「S」における「5Star企業」がコンセプトです。

来年5月の公表を予定しております。



注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



アドソル日進株式会社

URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川
TEL:03-5796-3131(代表)
経営企画室 広報・IR担当 TEL:03-5796-3023 メール:ir@adniss.jp

以上で、「2023年3月期 第2四半期」の
決算説明を終わります。

ご参考 2023年3月期 第2四半期
上期業績 補足説明資料

上期決算の補足説明資料です。



- ・エネルギー分野: **電力関連**・**中部地区 対応強化**、**エネルギーシステム改革関連**
- ・交通・運輸分野: **航空関連**・**キャリア向け新規案件受注**
道路関連・**対応領域拡大**

(単位:百万円)

	売上高		受注残高		概況
	22/3 2Q	23/3 2Q	22/3 2Q	23/3 2Q	
社会インフラ事業	3,850	3,431	1,281	1,529	
エネルギー	3,183	2,796	1,024	1,145	電力関連: ・中部地区対応強化 ・エネルギーシステム改革関連 (次世代スマートメーター等) ガス関連: ・大型・法的分離案件 終了
交通・運輸	213	256	97	212	航空関連: ・キャリア向け新規案件 道路関連: ・対応領域拡大
公共	84	117	30	70	防災関連: ・継続
通信・ネットワーク	368	262	127	100	次世代通信(5G): ・無線基地局 継続

「社会インフラ事業」の業績概要です。

- ・「エネルギー分野」は、
前期まで実施したガス関連の、
大型・法的分離案件が終了しましたが、
電力関連において、中部地区での対応強化に加え、
エネルギーシステム改革での新テーマに向けた
提案活動に注力しました。
- ・「交通・運輸分野」では、
航空関連で、キャリア向けの新規案件を受注しました。
また、道路関連での対応領域拡大に取り組みました。
- ・「通信・ネットワーク分野」では、
「5G」を中心とした、「無線基地局関連」を継続しました。

結果、売上高は、「3,431百万円」となりました。

なお、受注残高は、
「1,529百万円」となりました。



先進インダストリー事業

・制御システム : スマート・モビリティ(先進EV、自動運転)、先進医療 計画通り

・基盤システム : DX案件(ペイメント関連、業務基盤関連) 拡大

・ソリューション : アライアンス対応(GIS:地理情報システム) 注力

(単位:百万円)

	売上高		受注残高		概況
	22/3 2Q	23/3 2Q	22/3 2Q	23/3 2Q	
先進インダストリー事業	2,377	2,804	930	1,156	
制御システム	753	719	208	253	・スマート・モビリティ、先進医療関連 : 計画通り
基盤システム	1,322	1,662	680	767	・DX案件 : ・ペイメント関連 (キャッシュレス・決済、 クレジットカード) ・業務基盤関連 (大手メーカー/Sier)
ソリューション	302	422	42	134	・アライアンス対応 : GIS;地理情報システム (製造業、エネルギーなど)

Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

31

続いて、「先進インダストリー事業」です。

- ・「制御システム分野」では、
先進EV・自動運転の「スマート・モビリティ関連」、
「先進医療関連」が計画通り推移しました。
- ・「基盤システム分野」では、
キャッシュレス・決済やクレジットカード等の「ペイメント関連」、
「業務基盤関連」で、DX案件が拡大しました。
- ・「ソリューション分野」では、
GIS:地理情報システムをコアに、
エネルギー業界や製造業でのDX対応に注力しました。

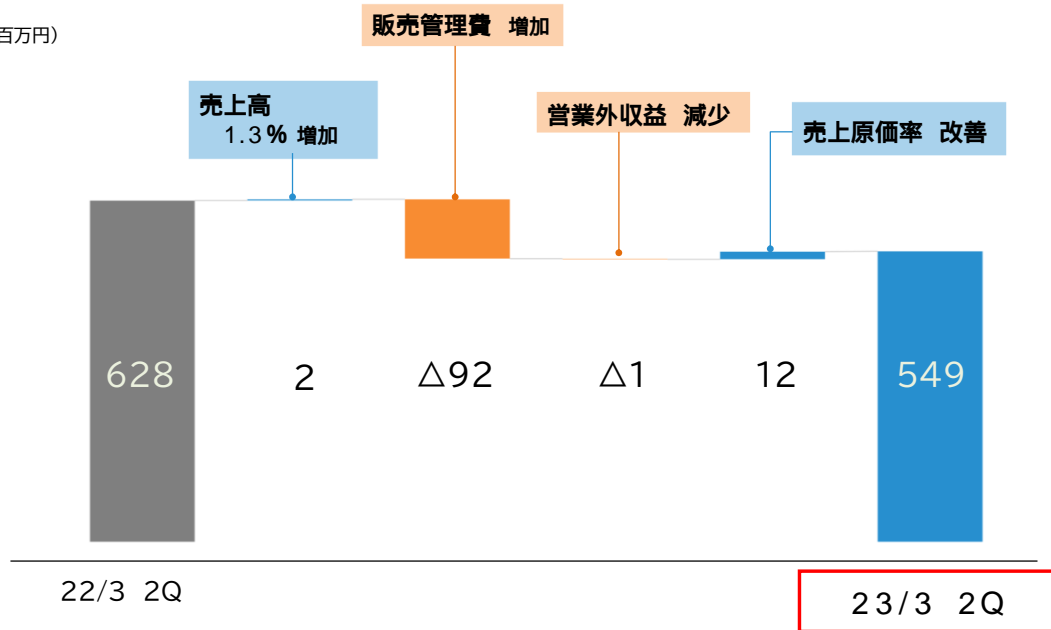
以上の結果、
売上高は「2,804百万円」と増収、
受注残高は、DX対応に取り組む基盤システム分野を
中心に増加し、「1,156百万円」となりました。



主な変動要因

- 増益要因
- 減益要因

(単位:百万円)



続いて、経常利益の分析です。

収益性の向上に継続して取り組み、
売上総利益率が向上しました。

販売管理費は、
コストコントロールに継続して取り組む一方、
「DX・デジタルのアドソル日進」ブランドの確立に向け、
・人材育成投資(新入社員:54名、DX・AI人材など)や、
・社内システムのDX・デジタル化、
・営業・コンサルティング体制の強化等
戦略投資を推進した結果、
経常利益は「549百万円」となりました。

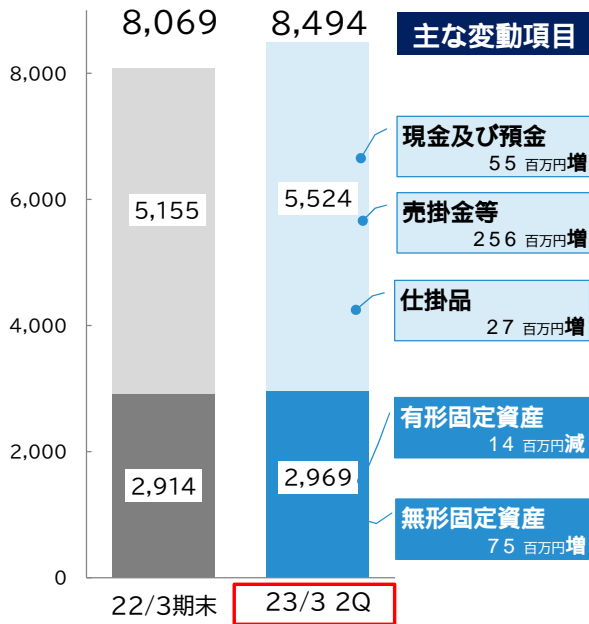


貸借対照表

資産

●総資産：84億円

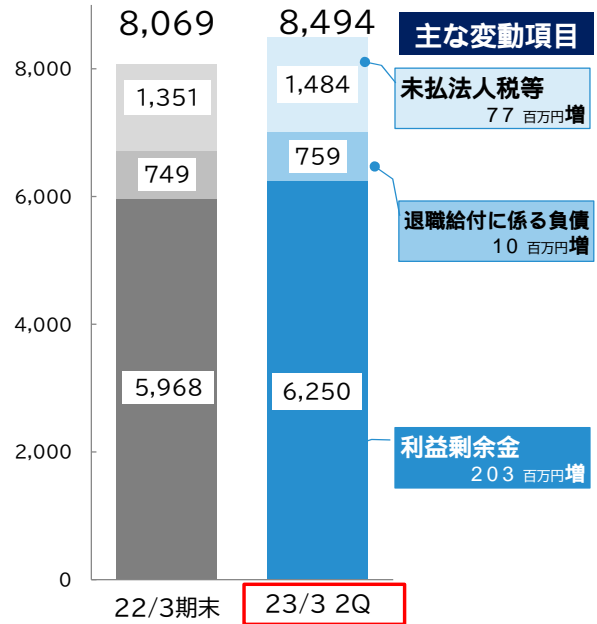
(単位：百万円) 流動資産 固定資産



負債・純資産

●自己資本比率：72.2%

(単位：百万円) 流動負債 固定負債 純資産



貸借対照表は、ご覧の通りです。

自己資本比率は、「72.2%」と、健全な状況を保っております。



キャッシュ・フロー

概要

(単位:百万円)	22/3 2Q	23/3 2Q	変動要因	
営業活動	720	288	・税金等調整前四半期純利益	546
			・減価償却費	46
			・売上債権の増加	△257
			・棚卸資産の増加	△27
			・仕入債務の増加	49
			・未払消費税等の増加	34
			・法人税等の支払額	△100
投資活動	△54	65	・無形固定資産の取得による支出	△113
財務活動	△242	168	・配当金の支払額	△166
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,099	2,862		

Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

34

キャッシュ・フローの状況は、
ご覧の通りです。

ご参考 2023年3月期 第2四半期 取組みのご紹介

変革と挑戦に向けた、
2023年3月期の取組みをご紹介します。



経済産業省



DX推進準備が整備された企業を、
国が認定する制度

「DX推進」に向けた取り組み

中期経営計画

デジタル技術、データ利活用、デジタル経営、DX人材育成

DXアライアンス

仏・シュナイダー社、日本電産株式会社、Mapbox社

オープンイノベーション

・東京大学大学院 工学系研究科(宇宙・衛星データ利活用)
・立命館大学(IoTセキュリティ)

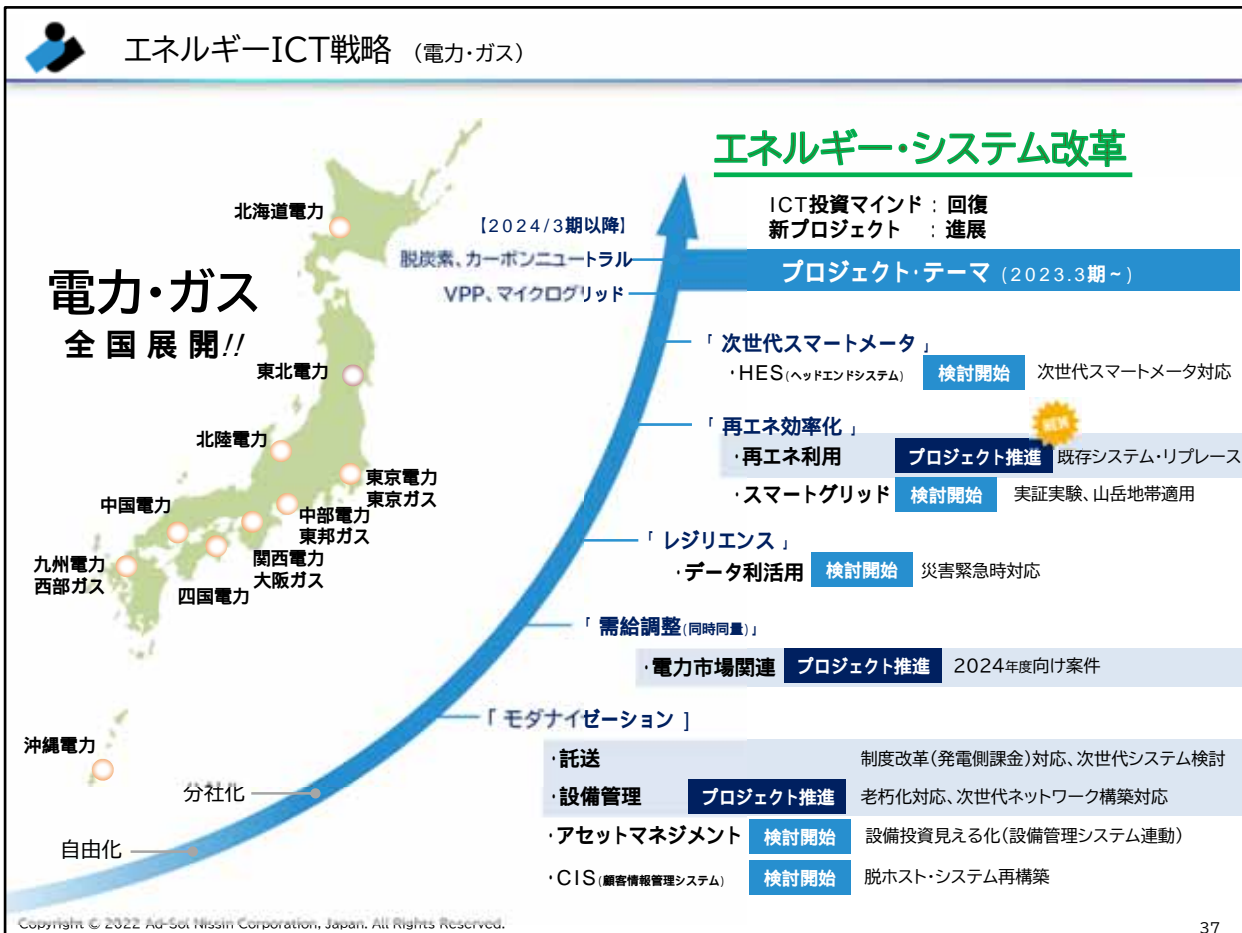
DX認定 ウェブサイト(経済産業省)
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html

DXに関する当社の取り組みを踏まえ、
本年7月に、
経済産業省より「DX認定事業者」に選定されました。

中期経営計画で掲げた、
デジタル技術や、データ利活用など、
当社独自の取り組みに加え、

DXの実現に向けた、
仏・シュナイダー社や、日本電産株式会社とのアライアンス、
そして、
東京大学大学院や、立命館大学とのイノベーションに
向けた取り組みを通じて、

お客様のビジネス変革の早期実現や、
持続可能な社会(SDGs)の達成に貢献してまいります。



「エネルギーICT戦略」の取り組みですが、全国のエネルギー会社での投資マインドは、回復しております。

この第2四半期にも、複数のプロジェクトが新たに動き出しました。

また、お客様と共に、託送や、設備管理などのプロジェクトで、コンサルティングにも継続して取り組んでおります。

電力・ガスのエネルギー分野で培った豊富な実績と経験を活かし、全国のエネルギー企業のニーズに、積極的に、お応えしてまいります。



「DX・デジタル」のアドソル日進へ

Digital Transformation

DXアライアンス
オープン・イノベーション
デジタルデータの利活用

など、「DX価値共創」の取り組みをご紹介します！



パソコン1台で異なるネットワーク環境を完全分離！

Secure i solution

高セキュリティ
業務効率の改善
コスト低減

を実現したサイバーセキュリティ・ソリューションのご紹介！



このほか、アドソル日進の動画は、
Youtubeチャンネルよりご覧ください



プロモーション活動として、
当社のDXに関する取り組みやソリューションを
ご紹介する動画を作成・公開しました。

・DXコンセプト:

<https://www.adniss.jp/news/2022/06/dx-movie.html>

・セキュア・アイソレーション:

<http://www.adniss.jp/news/2022/11/secureisolation-movie.html>

-----ご参考-----

DXコンセプト動画は、
右上のQRコードをタップ、または
スマートフォンにてスキャンいただき、
ご覧ください。



「市場創成」
「最新技術」

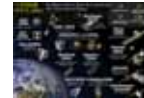
アドソル日進



東京大学

・「宇宙・衛星データ利活用」

- ◆キーコンセプト:宇宙×IT×問題解決で、未来を創る
- ◆社会問題解決の研究(AI等のIT活用など)
- ◆「宇宙×IT」人材育成の研究



早稲田大学

・「EMS 新宿実証センター」

- ◆早稲田大学先進グリッド技術研究所と経済産業省 日本初
- ◆電気・ガス、通信、住宅、自動車、家電など「26法人」
- ◆複数メーカーの機器連携



早稲田大学EMS新宿実証センター

慶應義塾大学

・「GISとIoTの融合」

「GIS×IoTプラットフォーム」

- ◆「i-Construction」(国土交通省が推進する建設現場の生産改革の取り組み)対応
- ◆地理情報システム学会等で成果発表
- ◆ベルモント国際共同研究への参加



立命館大学

・「IoTセキュリティ / 組み込みマルチコア」

- ◆産学連携協定: IoTセキュリティ分野を主とする 科学技術の発展
 - ・セキュリティに関する最新テクノロジーの研究
 - ・IoTセキュリティ・ガイドラインの検討・検証
 - ・IoTセキュリティ研究センター、コンソーシアムの設立、人材育成
- ◆次世代IoT機器向け 共同研究
 - ・組み込み「マルチコア制御システム」



毛利研究室との共同研究



協定締結式

産学連携のご紹介です。

当社は、

- ・東京大学との、「宇宙・衛星データ利活用」
- ・早稲田大学との、「EMS関連」
- ・慶應義塾大学との、「GIS:地理情報システム関連」
- ・立命館大学との、「IoTセキュリティ」「マルチコアOS」

などを、各大学と取り組んでおります。

また、他の大学や研究機関とも

様々なテーマで共同研究を予定しております。



18件目 (IoT無線関連)



従来使用するアンテナを手動で設定し、通信が不安定な場合は切り替えの必要があった。無線接続し、利用するアンテナをソフトウェアで設定、自動的に品質のよいアンテナを選択することが可能に。

	特許番号	特許第7038878
	発明の名称	無線装置、アンテナ選定方法及びプログラム
	出願日	2022年7月10日
	登録日	2022年3月10日
	特許権者	アドソル日進

19件目 (IoTサイバーセキュリティ関連)



端末装置(パソコンなど)がインターネットに接続した後に、高セキュリティなネットワークに接続するまでのわずかな時間に生じるセキュリティリスクを排除する技術

(テレワーク・ソリューション「セキュア・ラップトップ」で活用)

	特許番号	特許第7146124
	発明の名称	端末装置、方法およびプログラム
	出願日	2022年2月2日
	登録日	2022年9月22日
	特許権者	アドソル日進

知的財産への取り組みについて、ご説明します。

当社は、保有する独自技術の特許化に
長年取り組んでおり、

「無線技術関連」、「IoTサイバーセキュリティ関連」で、
特許を取得し、累計で、「19件」となりました。



情報開示の充実

01 サステナビリティサイト

- ・ ESGデータブック
- ・ サステナビリティ方針
- ・ 気候変動への取り組み
- ・ 人財に関する取り組み など

<https://www.adniss.jp/esg/>



02 TCFD提言 賛同表明
TCFDコンソーシアム 加盟

※TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)



ESG経営への評価 (株価指数への選定)



S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

TOPIXをユニバースとし、環境情報の開示状況、炭素効率性(売上高当たり炭素排出量)の水準に着目して、構成銘柄のウェイトを決定する指数

SDGsの取り組みについてご説明します。

サステナビリティサイトにおいて、ESGデータブックなど
関連情報の充実化に継続して取り組んでおります。

また、

- ・「TCFD提言への賛同」を表明するとともに
- ・「TCFDコンソーシアム」に加盟しております。

ESG経営への評価としまして
「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」に
組み入れられております。

ご参考 アドソル日進 会社概要

ご参考
アドソル日進株式会社 会社概要



当社は、「1976年」、
 電力の系統制御システム開発より事業をスタートし、
 以来、「45年」にわたり
 高い技術力と、高品質なシステム開発力を強みに、
 先進的なテクノロジーの提供と、
 数多くの大規模プロジェクトでの実績を通じて、
 お客様の信頼を獲得し、
 ご覧の通り、事業領域を拡大してまいりました。



世界に広がるアドソル・ネットワーク



現在、事業の拠点は、国内のみならず、
アメリカのシリコンバレーや、
ベトナムを中心に、グローバルに展開しております。

米国・サンノゼのR&Dセンターでは最先端テクノロジーの
研究開発や、海外提携先との連携にも取り組んでおります。

次に、ベトナム拠点では、
グローバル・サプライチェーンの強化に注力しております。

今後も、最先端テクノロジーや、ソリューション、
また、開発体制の強化に向けた取り組みを、
グローバルに進め、
「DX・デジタル化」を中心に
多様化するお客様のニーズに、お応えしてまいります方針です。



対象株主&時期

■毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)

200株以上4,000株未満 :12月、6月に優待品を発送予定

4,000株以上 :11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQUOカードを贈呈

200株以上 1,000株未満 500円相当

1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当

2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

●保有期間特典

1年以上で QUOカード1枚(500円相当)を
年間 2枚 追加贈呈



■4,000株以上

「緑の募金」付きQUOカード(3,000円相当) 又は

「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等
から選べる株主優待カタログ
(3,000円相当の商品から一品)を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

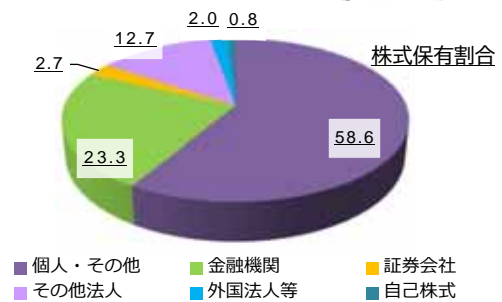
株主優待のご紹介です。

配当に加え、保有株数に応じた優待制度を設けており、
「梅ギフト」や「クオカード」を年2回、
贈呈させていただいております。



会社概要

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川 TEL:03-5796-3131(代表) FAX:03-5796-3265(代表)
拠点	大阪、福岡、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三 代表取締役社長 兼 COO 篠崎 俊明
資本金	5.7億円
決算	3月
事業内容	独立系のICT企業として、社会システム事業を 中核に企業や公共向け情報システムの開発、 及びソリューションの提供並びに商品化と販売
従業員数	連結 648名(2022年4月1日現在)
売上高	122.4億円(2022年3月期)
上場市場	東証プライム 3837
発行済株式数	9,390,189株(2022年9月30日現在)
子会社	国内 アドソル・アジア(株) 米国 Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)
業務提携先	米国 Lynx Software Technologies, Inc. ベトナム 3S Intersoft JSC United Technologies Corporation Individual Systems 中国 大連運籌科技有限公司(Weavesoft Ltd.)



Copyright © 2022 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

(ご参考)

アドソル日進の会社概要です。